補正予算案（追加提案）について質疑しました

WEB版はコチラ［ひぐちブログ］

生産性向上・賃金引上げ応援金

2年前に始まった国の「業務改善助成金」を活用する市内事業者に対し、上乗せする補助金の制度だが、本市における活用状況および効果と課題について質し、11月末時点の利用実績は76件であり、支援が設備投資の後押しとなった、設備導入により業務改善に繋がったなどの一方で、本市事業の前提となる、国の業務改善助成金の利用促進が課題であると捉えている。社会保険労務士の団体などとも連携し、本制度の活用事例を発信するなど、広報の充実に努めていくと答えました。

本市も主体的に労働局と連携をして賃金アップ等がなされているか検証をすべきについて、賃上げの状況の確認や最低賃金の周知については、労働局において十分行われていると認識しているが、本市応援金の交付決定の際に賃金に関する周知を重ねて行うなど対応していきたいと答えました。

地域企業連携デジタル人材育成・確保促進事業費について

即戦力となる高度IT人材の確保・育成を支援するとしているが、どのような業務に対して人材が必要であり、具体的な支援を想定しているのか、あわせて地元での育成にも目を向けることが肝心と質し、プログラミング等のITスキルはもとより、顧客のニーズの把握や課題解決、新たな価値の創出など幅広い業務に対応した人材が求められている。次世代クロステックビジネス創出促進事業において、IT人材が地元企業の課題解決に取り組みながらスキルアップを図るプログラム等を実施している。今回の補正予算案における事業と合わせ、地域で活躍するIT人材の確保・育成に取り組んでいくとの答弁でした。

市内農産物需給拡大促進事業

6次産業化チャレンジ支援事業の取組み状況については、令和元年度以降14件の利用実績があり、予算執行率は2割強だが、市内産農産物を使用した商品化による試験販売や、展示商談会等への出展による販路拡大につながった。さらに市内産農産物需給拡大促進事業の想定する効果については、これまで開発された商品等の高付加価値化はもとより、新規事業者も含め、ふるさと納税返礼品への登録や多言語リーフレットの作成等により、本市農産物を活用した商品開発や販路拡大を支援するものであり、新たな取引先の開拓やインバウンド向けの消費拡大を図ることで、本市農業者の収益向上につなげていきたいと答えました。

生産者と消費者双方を支える農業政策

農作物高騰への対応も必要であり、あわせて生産者の収入確保への取り組みが必要である。農産物を利用する小売店や宿泊業者などの実需者への直接的な支援など国による生産段階でのコストに考慮した取引に向けての制度設計およびさらなる支援を求めるべきと質し、米をはじめとする農産物は、質・量の確保と適正な価格による流通が肝要だが、生産者と消費者との立場が相反する部分もあり、バランスの取れた施策展開が求められていると認識している。国でも農産物の取引における生産コストの適正な価格転嫁の制度化を検討している。国の動向も注視しながら、スマート技術の導入による生産コストの削減や、より単価の高い作物への転換など、生産者の収入確保を図るとともに、顔の見える地産地消の取り組みなど、消費者の理解を得ながら、持続可能な農業の実現に向けて取り組んでいくとの答弁でした。

11月の「地産地消月間」の反響、今後のイベントでの周知の徹底についても質問しました。

ホームページ http://www.kaigamori.com/nohiguchi/

ひぐちブログ http://nohiguchi.jugem.jp/

HPはこちら！

X(旧twitter)アカウント名 #nohiguchi

Facebook ページ http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172

ひぐちのりこ 市議会ニュースレター

あったかトーク

2025年 第51号 冬号

ひぐちのりこ事務所（青葉区版）

発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ
管理栄養士 保育士
立憲民主党仙台 幹事長
●市民教育常任委員会
●DX推進 調査特別委員会

物価高騰対策を強化 補正予算に67億円余を計上

2024年第4回の定例議会は12月6日開会、23日閉会の日程で開かれ、条例改正案、一般会計補正予算案等計27件の議案審査が行われ、可決・承認されました。

条例改正案では10月4日に出された人事委員会勧告に基づき、市職員の給与改定案（平均2.94%, 9,756円、期末・勤勉手当4.50円を4.6月に）が上程されました。これに併せて、市長等および議員、特別職等の期末手当を0.1月引き上げる改正案も提案されました。

一般会計補正予算案は、国の経済対策を踏まえ、物価高騰により影響を受ける市民生活や事業活動を支援されるための費用、収益向上・賃上げを後押しするための企業の経営体制や販路開拓、農業経営支援等の費用を中心に67億132万円が計上されました。住民税非課税家庭（約13万世帯）に一律3万円、子ども1人当たり2万円を上乗せする給付金、また福祉施設等の食材料費や光熱費の物価上昇分への助成金、観光プロモーション事業費（一泊当たり30%、最大4,000円）なども盛り込まれました。

学校条例改正案

泉区の実沢小学校を根白石小学校に統合する学校条例の改正案の他、都市計画法の改正に合わせた開発行為許可申請手数料の改正、宅地造成等規制法の改正に伴い、中間検査および定期の報告を要する宅地造成または特定盛土等の規模を定めるとともに、工事の許可申請に係る手数料を改定する条例案も上程されました。

工事請負契約では、入札不調が続いていた市役所本庁舎建替工事の空調設備に関する契約と物価・人件費の高騰等により増額変更、福祉プラザの大規模改修、広瀬小学校校舎等長寿命化改修工事が提案されました。

指定管理者の指定

市民生活サポートセンター、イズミティ21, 広瀬総合運動場、七北田公園内のユアテックスタジアム仙台と体育館、根白石児童館他13児童館等の指定管理者の指定に関する件も提案されました。

宮城県退職者連合の要請

その他、市内縁地での倒木による家屋等の損傷事故に関する損害賠償額の決定に関する件等も提案されました。

採択された意見書

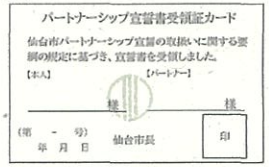
◆「災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築を求める件」

市議会ひぐちコラム 仙台市、パートナーシップ宣誓制度スタート！

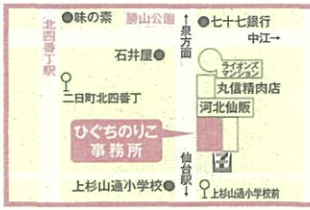
12月10日（火）性的マイノリティのカップルを婚姻相当の関係と認める、仙台市のパートナーシップ宣誓制度が導入され、すべての政令指定都市が運用となりました。全国では474自治体（12月10日現在）仙台市の導入で少なくとも日本の総人口に対する人口割合は89.686%になりました。（公益社団法人 結婚の自由をすべての人に：Marrige For ALL Japanによるデータより）宮城県では初の導入、2月には栗原市が予定されています。市営住宅への入居や罹災証明書の代理申請等、利用可能な連携一覧についても示され、スタートから6組以上の制度利用がありました。

同性婚裁判も現在、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡の裁判所に提訴されていますが、これまでの判決のうち、同性どうしが結婚できない現在の法律を合憲だと判断したのは大阪地方裁判所のみです。同性婚ができないことは違憲もしくは違憲状態判決は8件。高裁はすべて違憲判決となっています。

パートナーシップ宣誓書受領証カードの見本（表面）



表面：宣誓者のお名前・交付番号
裏面：お子さんのお名前（希望する場合のみ）等
※このほか、受領証を交付します。



ひぐちのりこ事務所

〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101

TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172

セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい！

ひぐちのりこ 東奔西走！

11/8 本所都民防災教育センター（本所防災館）会派視察

1995年に開館した本所防災館（東京都墨田区）を会派で視察しました。多発する自然災害や防災への関心の高まりもあって、事業所、町内会や学校関係の団体利用、また親子向けの事業も多く行っていることから、家族での参加も多く来館者は年間10万人を超えています。2割ほどが外国籍の方であり、諸外国の防災、危機管理関係者、大使館などの視察も多く受け入れています。

防災の学習として、熊本地震、阪神淡路大震災等の地震体験さらには都市型水害や暴風雨体験などを行いました。

自動車が浸水して水圧がかかっているドアの開放体験

WEB版を見る ひぐちブログ

11/18～20 市民教育常任委員会視察

WEB版を見る ひぐちブログ

18日は福岡城跡整備の組織や体制、城内での建造物の復元について、福岡市の担当の方から説明を聞き現地を視察しました。文化財に対しての消防用設備や消防訓練についても具体的な事例を聞きました。

19日午前は北九州市の客引き行為等の対策について、警察などの組織とも連携を行い、客引き条例制定後、刑法認知件数が減少したほか客引き行為者が6割減少するなど成果を上げています。午後からはデジタル複合施設、REDEE 北九州イノベーションセンター、北九州科学館 スペースLABOの視察をしました。

20日は、広島市立祇園中学校での。市の施策による校内教委支援センター校での事業について、加配職員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、生徒指導アドバイザー等による「チーム学校」の体制を構築しています。支援体制モデルや保護者の会などの取り組みのレクチャーを受けました。

北九州科学館のキッズスペース

11/21、12/19 市民教育常任委員会で質問

WEB版を見る ひぐちブログ

11月21日は、学校給食施設の基本方針について質問しました。

学校給食は教育の一環とされているが、コスト面から調理場がある市立小中学校などで調理した給食を近隣の学校に届ける親子方式を導入するとしている。本来教育なのにもかかわらず違和感があるが、認識を聞き、学校給食は、教育の目的に資する大変重要なものであると認識している。学校給食を将来にわたって安定的に実施するためには、児童生徒数の減少見込みや、人材不足の顕在化等の課題への対応も図る必要があるので、給食施設のあり方に関する方向性を定める基本方針の検討を進めているところであるとの答弁でした。

12月19日は、宮城総合支所庁舎等基本構想中間案について、現地建替することおよび災害時の避難所としての役割を持つ検討を進めているが、マンホールトイレの導入やペット同行避難についておよびシャワー室や休息室の男女別設置を求め、災害時は一時的な滞在を想定しており、地域防災計画等も踏まえ基本計画を策定する中で検討を進めていきたい。シャワー室や休息室等の設備については、男女別の設置が適切と考えているので、具体的な庁舎の設計の際に反映させていくと答えました。

パートナーシップ宣誓制度導入で示された利用可能な連携一覧について、市立学校についても緊急連絡先の登録や緊急時の送迎は「宣誓不要（口頭確認等）」で良いことを確認し、学校でも利用できる連携制度についても一覧に明記すべきと求めました。

仙台市図書館において、生活保護手帳など生活保護をはじめ外国籍の方も含む労働関係などの制度理解のために資する様々な資料の充実やインターネット上で利用できるサービスのさらなる広報について質問し、本市の行政サービスに関するリーフレット等については、関係部署と連携を図り、電子図書館への掲載を進めていく。利用者が本市図書館を通じて国会図書館等が所蔵する図書を取り寄せ、必要な情報を入手したりできることから、こうした利用方法についても、積極的に広報していくと答えました。

生活保護行政の運営・実施に役立つ「生活保護手帳」

皆さんの声を聴いて、市政へ！

11/15 女川原発再稼働に抗議！ 東北電力への要請と意見交換

女川原発再稼働ストップ！みやぎ女性議員有志の会（県内自治体女性議員・元議員72名）は、多くの反対のある中、13年半ぶりの再稼働した女川原発について東北電力に対して抗議と要請、意見交換をしました。

東北電力に対して①機器のトラブルと原子炉停止について、②相次ぐ人為的ミスについて、③女川原発の避難計画について、④使用済み核燃料の対応について、⑤特定重大事故等対処施設について意見交換をしました。使用済み核燃料の一時貯蔵について「まだ決めていない」と回答。長期停止に伴うトラブルへの懸念や避難計画の不備についても課題は山積みのままであり、原発を使い続けるリスクは全く解消されていないと指摘しました。引き続き原子力エネルギーへの依存をせず、地域の視点を最大限に活かし、自然エネルギー、再生可能エネルギーへの転換を求めていきます。

意見交換後行われた集会。これからの取り組みなど話し合い

WEB版を見る ひぐちブログ

議会提案が実現！ 技術職員の人材確保に向け来年度から早期採用へ

2024年第3回定例会で私は、本市における技術系職員の受験倍率低迷と技術職員の人材不足および確保に関して質問をしました。この質問もあり、来年度から仙台市では土木や建築などの技術職員の人材確保につなげようと、毎年6月に行っている採用試験とは別に、4月に試験を行う技術職員の採用に特化した取り組みを始めることとなりました。

WEB版を見る ひぐちブログ

仙台市技術職員早期枠採用案内

ひぐちのりこ 主な活動日誌

11月7日	仙台・未来創造フォーラム
11月16日	みやぎにじいろパレード
11月28日	宮城県退職者連合「2024年度社会保障制度等に関する要請」
12月3日	自治体向けDX展示会
12月6日～23日	仙台市議会第4回定例会
12月21日	「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムin仙台
12月26日	DX推進　調査特別委員会
1月6日	新春のつどい
1月7日	仙台市消防出初式
1月8日	みやぎ生協メンバーとの懇談
1月12日	2025年はたちのつどい
1月16日～17日	DX推進　調査特別委員会視察
1月18日～19日	フェミニスト議員連盟ウインターセミナー

これからの主な予定

1月21日	市民教育常任委員会
1月29日	仙台市国民健康保険運営協議会
2月7日～3月13日	仙台市議会第1回定例会
2月11日	2.11信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会
3月21日	DX推進　調査特別委員会

お願い 「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を送付している方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらあわせてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。